※令和４年度以降入学生用

学校番号	1005

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「言語文化」（数研出版）						
副教材等	「九訂版　読解をたいせつにする　体系古典文法」（数研出版） 「基礎から解釈へ　漢文必携　五訂版」（桐原書店） 「新版　理解を深める核心古文単語 351」（尚文出版） 「基本の古典　大学入学共通テスト対策　新装版」（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・上代から近現代に受け継がれてきた言語文化への理解を深めるための必履修科目です。
・「言語文化」の授業を通して、「人間らしさとはなにか」を考え、現代に生きるみなさんの課題発見、解決につなげてください。
・話し合いや文章記述、発表など、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を取り入れた授業を行います。
・作品そのものだけではなく、作者や時代の背景、歴史、関連する他の作品など、様々なつながりを意識しましょう。
・国語の特徴的な語句や表現技法を学び、自分の体験や思いを効果的に伝えるための工夫ができるようになりましょう。
・作品や文章に表れているものの見方や感じ方、考え方を捉えて内容を解釈し、それを踏まえて自身のものの見方や感じ方、考え方を深めましょう。
・古典を読む際は、作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙や文法の知識を身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。提出物の期限は守りましょう。授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。自分の考えや、周りの人の意見なども記入していきましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	作品の主題について考え、述べる(いつの時代も変わらない人間らしさ) ［教材］ 児のそら寝(宇治拾遺物語)	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［ 読 ］:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る ［教材］ なよたけのかぐや姫(竹取物語) 〔言語活動〕 古典から受け継がれる話の由来を調べる	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［ 読 ］:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:言語文化の継承に関心と自覚をもち、図書館の資料などを用いて、話の由来について調べようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	漢文入門 ［教材］ 入門／訓読に親しむ/再読文字/漢文を読むために	a:漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類、助字、再読文字の使い方を習得する。 b［ 読 ］:我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 c:これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	当時の人々の生活感や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する ［教材］ はしたなきもの（枕草子）	a:古典の世界に親しむために、古典を読むうえで必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［ 書 ］:「はしたなきもの」として挙げられている例を自分たちの身に置き換えて論述する。 c:積極的に古文を自分に引きつけて解釈し、学習課題に沿って現代語の随筆を書こうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 随筆作品	ワークシート ノート 振り返りシート
2	歌物語の特徴と読み解き方を理解する ［教材］ 筒井筒(伊勢物語) 〔言語活動〕大和物語と読み比べる	a:主として用言の活用について、文語のきまりを理解する。 b［ 読 ］:『伊勢物語』の「筒井筒」の段と読み比べ、解釈を深める。 c:積極的に読み比べ、『伊勢物語』『大和物語』それぞれの特色や魅力に気づいている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	故事成語 ［教材］ 漁夫之利 〔言語活動〕故事成語の由来と意味を調べる	a:漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 b［ 読 ］:文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		c:故事成語の由来と意味を積極的に調べ、調べた内容を工夫してまとめようとしている。			
	思想 ［教材］ 論語「学び」	a:我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]:作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:『論語』が我が国の文化に及ぼした影響について理解し、孔子の理想とするところを粘り強く説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	和歌に込められた心情を考察する ［教材］ 万葉集／古今和歌集／新古今和歌集	a:古典の世界に親しむために、古典を読むうえで必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]: 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c: 和歌を粘り強く読み解き、学習の見通しをもって主題について考察しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	近現代の詩歌 短歌を作り、クラスで歌会をする ［教材］ 甃のうへ（三好達治） 自分の感受性くらい（茨木のり子） 〔言語活動〕短歌を作る	a:文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉える。 b[書]:自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 c:積極的に短歌の作成に取り組み、見通しを持って、歌会の開催に参加しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 短歌作品	ワークシート ノート 振り返りシート 歌会
	日記 門出(土佐日記)	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:学習の見通しをもって虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
3	随筆 ［教材］ 丹波に出雲といふ所あり/九月二十日のころ(徒然草)	a:主として敬語について文語のきまりを理解する。 b[読]:さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 c:随筆の内容・構成などを粘り強く把握し、学習課題に沿って説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート
	唐詩の世界 ［教材］ 春暁(孟浩然)/江南春(杜牧)	a:作品の歴史的・文化的背景や漢詩のきまりを理解する。 b[読]:表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 c:漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しをもって漢詩を鑑賞しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 振り返りシート

４　学習の活動

※令和４年度以降入学生用
※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間
・書くこと　…　（　１０　）時間
・読むこと　…　（　６０　）時間